科目名	作詞・作曲３							年度	2026
英語科目名	Songwriting and Composition 3							学期	前期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	RINA MOON		教員の実務経験		有	実務経験の職種		作詞家	

【科目の目的】

個人のアーティスト活動やオーディションでパフォーマンス出来る、オリジナル楽曲を制作できるようになることを目的とする。メロディ作り、コード付け、作詞など音楽制作を行う上で必要不可欠なスキルを幅広く学び、授業内で制作した楽曲は、修了・卒業ライブなどで発表する。

【科目の概要】

「作曲」と「作詞」の二軸を中心とし授業を進めていく。音楽基礎など他の授業で学んだことが作曲とどのように関わり、どう活かしていけるのかを実際に試行錯誤しながら音楽制作を学んでいく。
また、楽器を演奏できる学生は楽器を用いながら、そうでない学生はクリエイターの学生とペアを組むなどしてメロディーとコードを作成することも可能。イントロ、A、B，サビなどのJ-POPのひな形を理解し、リファレンスとなる構成を決めて制作を進めていく。

【到達目標】

A. ジャンルと楽器構成を設定できる
B. テンポとビートを設定できる
C. スケールとモチーフを利用したメロディを作成できる
D. メロディのコード付けができる
E. コーラスラインを作成できる

【授業の注意点】

専門学校は出席率100%が基本であるため、理由のない遅刻や欠席は認めない。
教員の指示がない限り、授業と関係のない携帯電話・スマートフォンの使用を認めない。
授業時限数の４分の３以上出席しない者は定期試験・評価課題を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	ジャンルと楽器構成を設定でき、実際に活用できる		ジャンルと楽器構成を設定できる		ジャンルと楽器構成を設定できない
到達目標 B	テンポとビートを設定でき、実際に活用できる		テンポとビートを設定できる		テンポとビートを設定できない
到達目標 C	スケールとモチーフを利用したメロディを作成でき、実際に活用できるる		スケールとモチーフを利用したメロディを作成できる		スケールとモチーフを利用したメロディを作成できない
到達目標 D	メロディのコード付けができ、実際に活用できる		メロディのコード付けができる		メロディのコード付けができない
到達目標 E	コーラスラインを作成でき、実際に活用できる		コーラスラインを作成できる		コーラスラインを作成できない

【教科書】

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　10%　積極的な姿勢

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	作詞・作曲３	年度	2026
英語表記	Songwriting and Composition 3	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	作曲(応用)①	曲のジャンルを設定する	1	ジャンルの種類	ジャンルの種類について理解できる		
			2	ジャンルの特徴	ジャンルの特徴について理解できる		
			3	得意ジャンル	自分の得意ジャンルについて把握できる		
2	作曲(応用)②	楽器構成の決め方を学ぶ	1	4リズム	4リズムについて理解できる		
			2	管弦楽器	管弦楽器について理解できる		
			3	その他(シンセ等)	その他の楽器(シンセ等)について理解できる		
3	作曲(応用)③	テンポ(BPM)の決め方を学ぶ	1	テンポによる印象	テンポによる印象について理解できる		
			2	歌いやすさ	歌いやすさの重要性を理解できる		
			3	聞き取りやすさ	聞き取りやすさの重要性を理解できる		
4	作曲(応用)④	拍子・ビートの決め方を学ぶ	1	拍子の違い	拍子による印象の違いを理解できる		
			2	ビートの違い	ビートによる印象の違いを理解できる		
			3	アクセント	アクセントの位置による印象の違いを理解できる		
5	作曲(応用)⑤	スケールを利用したメロディ作りを学ぶ	1	メジャースケール	メジャースケールを用いてメロディを作成できる		
			2	マイナースケール	マイナースケールを用いてメロディを作成できる		
			3	ペンタトニック	ペンタトニックを用いてメロディを作成できる		
6	作曲(応用)⑥	モチーフを利用したメロディ作りを学ぶ	1	モチーフ	モチーフについて理解できる		
			2	音数と長さ	モチーフの音数と長さについて理解できる		
			3	リフ	リフについて理解できる		
7	作曲(応用)⑦	メロディのコード付けを学ぶ	1	コードトーン	コードトーンを利用したコード付けができる		
			2	テンション	テンションを利用したコード付けができる		
			3	ノンコードトーン	ノンコードトーンを利用したコード付けができる		
8	作曲(応用)⑧	代表的な循環コードを学ぶ	1	1625進行	1625進行について理解できる		
			2	451進行	451進行について理解できる		
			3	6341進行	6341進行について理解できる		
9	作曲(応用)⑨	イントロ、間奏、アウトロの作り方を学ぶ	1	イントロ	イントロのメロディを作成できる		
			2	間奏	間奏のメロディを作成できる		
			3	アウトロ	アウトロのメロディを作成できる		
10	作曲(応用)⑩	大サビ(Cメロ)、落ちサビの作り方を学ぶ	1	大サビ(Cメロ)	大サビ(Cメロ)のメロディを作成できる		
			2	落ちサビ	落ちサビのメロディを作成できる		
			3	転調	転調を使ったメロディを作成できる		
			1	3度上(6度下)	3度上(6度下)のコーラスラインを作成できる		

11	作曲(応用)⑪	コーラスのラインの作り方を学ぶ	2	3度下(6度上)	3度下(6度上)のコーラスラインを作成できる		
			3	コードトーン	コードトーンのコーラスラインを作成できる		
12	作曲(応用)⑫	コーラス(サビ)を完成させる	1	メロディ作成	コーラスのメロディ作成ができる		
			2	メロディ添削	コーラスのメロディ添削ができる		
			3	メロディ修正	コーラスのメロディ修正ができる		
13	作曲(応用)⑬	ヴァース(Aメロ)を完成させる	1	メロディ作成	ヴァースのメロディ作成ができる		
			2	メロディ添削	ヴァースのメロディ添削ができる		
			3	メロディ修正	ヴァースのメロディ修正ができる		
14	作曲(応用)⑭	ブリッジ(Bメロ)を完成させる	1	メロディ作成	ブリッジのメロディ作成ができる		
			2	メロディ添削	ブリッジのメロディ添削ができる		
			3	メロディ修正	ブリッジのメロディ修正ができる		
15	発表会	前期に制作した作品(メロディ)を発表する	1	プレゼンテーション	自分の作品をプレゼンできる		
			2	批評	他者の作品を批評できる		
			3	講評	講師から講評をもらい、新しい課題を設定できる		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等